

各教育事務所の調査結果

上益城教育事務所

- 1 教科に関する調査の結果
 - (1) 教科に関する調査の結果概要
 - (2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校、中学校）
- 2 質問紙調査の結果
 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果
 - (2) 学校に対する調査の主な結果
 - (3) 質問紙調査に関する成果と課題
- 3 今後の重点取組

1－（1）教科に関する調査の結果概要

本管内の概要

- ・小学校では、国語、算数ともに全国平均を下回っている。
- ・中学校では、国語、数学ともに全国平均を下回っている。

【小学校6年生】		
	国語	算数
管内	63%	68%
県	66%	70%
全国	64.7%	70.2%

【中学校3年生】		
	国語	数学
管内	63%	54%
県	64%	55%
全国	64.6%	57.2%

※表中の数値は平均正答率（％）、県の値は国から整数値で公表

1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校）

成 果

国語 成果が見られた内容

- 文の中における主語と述語との関係を捉えること【問題番号 3三(2)イ】
- 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること【問題番号 3三(2)オ】

算数 成果が見られた内容

- 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること【問題番号 2(2)】
- 棒グラフから、数量を読み取ること【関連問題 3(1)】

課 題

国語 課題が見られた内容

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと【問題番号3三(1)エ】
- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること【問題番号 2一】

算数 課題が見られた内容

- データを二次元の表に分類整理すること【問題番号 3(3)】
- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できること【問題番号 2(3)】

1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（中学校）

成 果

国語 成果が見られた内容

- 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること【問題番号2二】
- 質問の意図を捉えること【問題番号 1二】

数学 成果が見られた内容

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること【問題番号7(2)】
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること【問題番号 7(1)】

課 題

国語 課題が見られた内容

- 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること【問題番号 3二】
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること【問題番号 3二】

数学 課題が見られた内容

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること【問題番号 6(2)】
- 扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解していること【問題番号 3】

2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
慣 基 等 本 的 生 活 習	朝食を毎日食べていますか	94.5	95.1	94.9	92.5	94.2	92.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	78.0	91.3	90.4	92.8	93.3	92.7
	普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか（「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合）	30.8	28.3	29.0	21.3	25.2	32.3
規 挑 範 戦 意 心 識、 達 自 己 成 有 用 感 等 感	自分には、よいところがあると思いますか	72.7	76.1	76.9	73.3	74.4	76.2
	将来の夢や目標をもっていますか	79.9	80.3	80.3	71.5	69.5	68.6
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	96.6	96.8	95.3	96.8	95.9
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.4	95.5	95.5	95.4	95.9	95.0
	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.2	87.3	83.4	83.0	85.3	81.1
	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	66.5	69.5	70.3	74.4	74.7	75.2
学 習 習 慣 等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます。）	75.5	73.0	74.0	62.1	61.2	63.5
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）（小学校は「30分以上」、中学校は「1時間以上」の割合）	88.0	88.1	87.0	73.4	72.2	75.9
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）（「2時間以上」+「1時間以上、2時間より少ない」+「30分以上、1時間より少ない」+「10分以上、30分より少ない」の割合）	60.5	60.5	61.2	47.7	45.8	50.1

※質問項目の中から抽出

2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
社会 地域 や	今住んでいる地域の行事に参加していますか	62.2	61.0	58.1	44.5	43.3	43.7
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	59.5	53.4	52.4	46.8	44.0	43.8
の I C T 機 器 の 活 用	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（「ほぼ毎日」+「週1回以上」の割合）	42.6	56.6	39.0	34.1	51.2	34.8
	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	93.5	95.4	94.5	95.7	94.8	93.2
か ら の 授 業 改 善 主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 視 点	学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	81.4	80.1	82.6	78.3	80.4	83.7
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	59.1	57.7	63.5	49.8	52.2	62.0
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.2	77.2	78.2	74.2	77.8	81.0
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	73.6	76.7	78.8	74.0	76.1	77.8
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	79.3	78.3	78.3	70.5	73.0	74.6
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	73.6	73.2	73.0	66.1	69.8	70.2
響 ル 新 型 コ ロ ナ ウ イ の 影 響	多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	55.1	50.6	55.2	56.7	57.9	62.8
	多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	61.8	66.3	64.6	34.9	36.8	37.6
	多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	59.5	63.7	63.1	48.8	49.4	48.4

※質問項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生徒指導	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	91.3	90.7	88.5	87.5	91.0	96.0
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	100	99.4	98.7	87.5	99.4	98.6
学校運営、教員の資質向上に関する状況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	87.0	82.3	73.9	62.5	62.8	55.5
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	95.7	94.9	94.4	87.5	90.4	90.6
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100	96.7	93.6	87.5	92.2	92.7
	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	95.7	98.8	98.5	87.5	98.2	97.2
主体的・対話的で深い学びに関する視点・取組の状況	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	95.7	88.0	85.3	87.5	83.3	86.0
	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	69.6	62.3	68.3	62.5	73.7	75.6
	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	73.9	74.4	75.8	75.0	78.5	83.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	91.3	91.0	88.1	75.0	91.7	86.9
家庭学習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	87.0	90.9	90.6	87.5	89.8	85.5
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）	100	96.1	95.5	87.5	95.8	91.9

※質問項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
ICT	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を教職員と児童〔生徒〕がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	43.5	68.7	44.7	37.5	59.9	41.5
	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を児童〔生徒〕同士がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	30.4	50.6	30.1	12.5	39.5	25.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	69.6	65.7	59.1	62.5	76.6	65.0
	平成31年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	69.6	52.7	48.1	62.5	57.5	48.5
中等の全学調 活果	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	98.8	88.7	87.5	94.6	85.8
新型コロナウイルス感染症の影響	学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか（「全校で実施」+「一部の学年・学級で実施」の割合）						
	・教科書に基づく学習内容の提示	91.3	98.1	93.4	100	99.4	92.5
	・学校が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	95.7	96.9	95.7	100	96.4	95.3
	・教科書会社やその他民間が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	95.7	90.4	85.8	100	77.8	69.6
	・児童生徒の自由研究や自主学習ノート等の学習	95.7	91.6	85.0	100	81.4	74.1
	・学校が作成した学習動画等を活用した学習	39.1	33.1	23.2	25.0	33.6	26.7
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	4.3	29.2	5.7	0	22.8	7.4

※質問項目の中から抽出

2 – (3) 質問紙調査に関する成果と課題

【児童生徒に対する調査から】

- 地域や社会に関する質問項目において、良好な結果が見られた。地域とのつながりや貢献する意識を持つことができている。併せて、道徳の授業への肯定的回答率も高く、上益城の人づくりが確実になされている。
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の質問項目において、肯定的評価が低く、課題であるといえる。小・中学校に共通して、「自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。」という問いに対する評価が低い。これは、管内の児童生徒の定着率の低かった問題とも関連しており、学習指導を行う中で、課題として意識した対応が必要である。

【学校に対する調査から】

- 小・中学校に共通して、全国学力・学習状況調査の活用に関する項目の肯定的評価が高く、管内では校長先生のリーダーシップのもと、学力向上に向けて結果を活用した取組がなされている。
- ICTに関する質問項目の結果から、環境の整備に併せ、効果的に活用できるよう、指導者のスキルアップを図り、取組を推進する必要がある。

3 今後の重点取組

- 「各学校における結果分析と考察」
 - ・全教員による、問題、質問項目ごとの考察、課題の共有化を図る。
 - ・全国学力・学習状況調査の解説資料と報告書を活用し、授業改善及び学級経営、学校経営等の充実を図る。
- 「『熊本の学び』アクションプロジェクト～上益城R3～に基づく検証・対応」
 - ・設定した目標値を確認し、検証改善サイクルを生かした取組及び改善策を確実に実施する。

(※「熊本の学び」アクションプロジェクト～上益城R3～とは、本県の「熊本の学び」アクションプロジェクトを具現化するため、管内の現状を踏まえキャリア教育の視点から学力向上に迫る、全小・中学校共通の取組です。)
- 「管理職による省察」
 - ・高い実施率を維持する。
 - ・毎日の授業観察等により授業改善及び課題の早期発見・対応を図る。